



カワセミ通信 No.101



発行：彩湖自然学習センター 発行日 H31. 2. 5

2月

季節のいきもの

～冬の昆虫採集～

先月号で100号を迎えたカワセミ通信。センターから発行するお手紙の名前を「カワセミ通信」と変え、2009年から年に10号ほど発行してきました。「みんなセンターにきてくれるといいな」「どの生き物を紹介しようか」「自分の好きな生き物をみんなにも知ってもらいたい」など、毎回頭を悩ませながら、でも楽しく作成しています。これからもそんな気持ちでカワセミ通信を発行していきたいと思っていますので、みなさんも楽しみにしてくださいね！

さてさて、今回の「季節のいきもの」担当者は昆虫が大好きです。特にチョウ、ガなど翅にりん粉を持つ昆虫が好きで、一年中採集や飼育をしたり標本をつくったりしています。冬の間は寒くなる前に採集した昆虫の標本やデータの整理をしていますが、たまに採集にも行きます。何を採集するかというと・・・寒い時期だけ活動する「ガ」です。寒い時期にいるわけがないと思うでしょう？でもガには寒い時期にしか活動しないものもたくさんいるのです。

秋のキリガと呼ばれるガは「糖蜜」と呼ばれるものを使って採集します。糖蜜は黒砂糖、酢、焼酎(お酒)などをとくして作ります。糖蜜には人それぞれレシピがあり、虫がよく来る糖蜜とそうではない糖蜜がありそうなので研究が必要です。やり方は綿やティッシュにたっぷり糖蜜をしみこませたものを木にはりつけ、ただひたすら待ちます。秋に成虫になりそのまま冬ごしをするこのガたちは、冬で花も少なくおなかがぺこぺこなので、糖蜜のにおいをかぎつけて飛んでくるというわけです。



ホシオビキリガ



糖蜜採集の様子



キバラモクメキリガ



ウスミモンキリガ

センターのまわりにはホシオビキリガ、キバラモクメキリガ、ウスミモンキリガなどが見られます。

「フユシャク」と呼ばれているシャクガの仲間はキリガと違い口吻（口）が退化してしまっているため糖蜜にはやってきません。そんなフユシャクの採集方法はズバリ「いそうな場所を見て回る」です。フユシャクのメスは翅が退化して飛べないので木に止まってフェロモンを出しオスを呼びます。そこにオスのフユシャクが飛んで来るのを見つけるのです。

私たちの周りには寒い冬をたくましく生きているガがたくさんいるのです。地味だけど、「ガ」すごいぜ！（R.Y）



ヒロバフユエダシャク

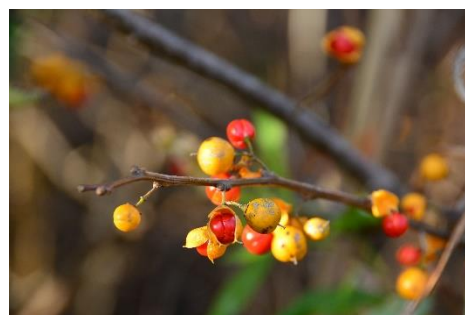
～春の特別企画～

○自然写真パネル展「彩湖・自然にカシャッ！」

彩湖周辺で見られる自然界の生き物たちの姿や、四季折々の自然風景などを記録した色彩豊かな写真展です（下の写真は昨年度出品作品の一部です）。

期日：3月1日（金）～5月6日（月） 場所：彩湖自然学習センター5階

期間中の休館日：3月11日（月）、25日（月）、4月8日（月）、22日（月）



彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市内谷 2887 番地

Tel : 048-422-9991 FAX : 048-422-9993

開館時間 10:00～16:30

休館日 毎月第2・4・5月曜日（祝日を除く）
月末（土・日・祝日を除く）

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ
(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)
をご覧ください。

